

-日商簿記3級検定試験-

第1問(仕訳)項目別対策

#5

～今回の対策項目～

商品売買③

(約束手形・電子記録債権・貸倒れの処理)



解説動画URL

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



第1問(仕訳)項目別対策

<日商簿記3級検定試験について>

- ・試験時間：60分
- ・合格点：70点以上

	第1問【仕訳問題】	第2問【その他】	第3問【決算関連】
主な出題内容	現金預金 商品売買 貸付金・借入金(利息の計算) 貸倒れの処理 費用の支払い 消費税・法人税 仮払金・仮受金 固定資産(購入・売却等) 剰余金の処分・配当 決算整理・決算振替 伝票の推定 証ひょうの読取り	勘定記入(T字勘定) 補助簿の選択 理論問題(語句穴埋め) 伝票(伝票の記入) 伝票(仕訳日計表) 商品有高帳 固定資産台帳	精算表の作成 損益計算書・貸借対照表の作成 決算整理後残高試算表の作成
配点	45点(3点×15問)	20点	35点
おすすめの解答手順	①(15分)	③(15分)	②(25分)
ポイント	ここで確実に高得点を! 目標は13問(39点)以上	初見で「難しい!!」と思わず冷静に! 確実に取れるところから部分点を!	時間を意識しつつ高得点を! 貸借の合計が一致しなかった時は 「必殺後回し!!」で次に進むこと!

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題1》

得意先A社に対する売掛金10,000円の回収として、同社振出、当社宛の約束手形を受け取った。

○用語○

振出人…支払人として手形を振出した人

名宛人…受取人として名前を指定された人

満期日…支払期日として手形に記載されている日

約束手形		東京 1234 0001-123
収入 印紙	****株式会社 殿	支払期日: XX年XX月XX日
	¥10,000※	支払地: ****
		支払場所: ****
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形を引替えにお支払いいたします		
振出地	****	
振出人	****株式会社	代表取締役 ****

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題2》

仕入先A社に対する買掛金5,000円の支払いのため、同社宛の約束手形を振り出した。

○用語○

振出人…支払人として手形を振出した人

名宛人…受取人として名前を指定された人

満期日…支払期日として手形に記載されている日

約束手形		東京 1234 0001-123
収入 印紙	****株式会社 殿	支払期日: XX年XX月XX日
	¥5,000※	支払地: ****
		支払場所: ****
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形を引替えにお支払いいたします		
振出地	****	
振出人	****株式会社	代表取締役 ****

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題3》

得意先A社に対する売掛金5,000円について、取引銀行を通じて電子記録債権の発生記録の請求を行い、同社の承諾を得たうえで、電子記録債権の発生記録を行った。

～発生記録～

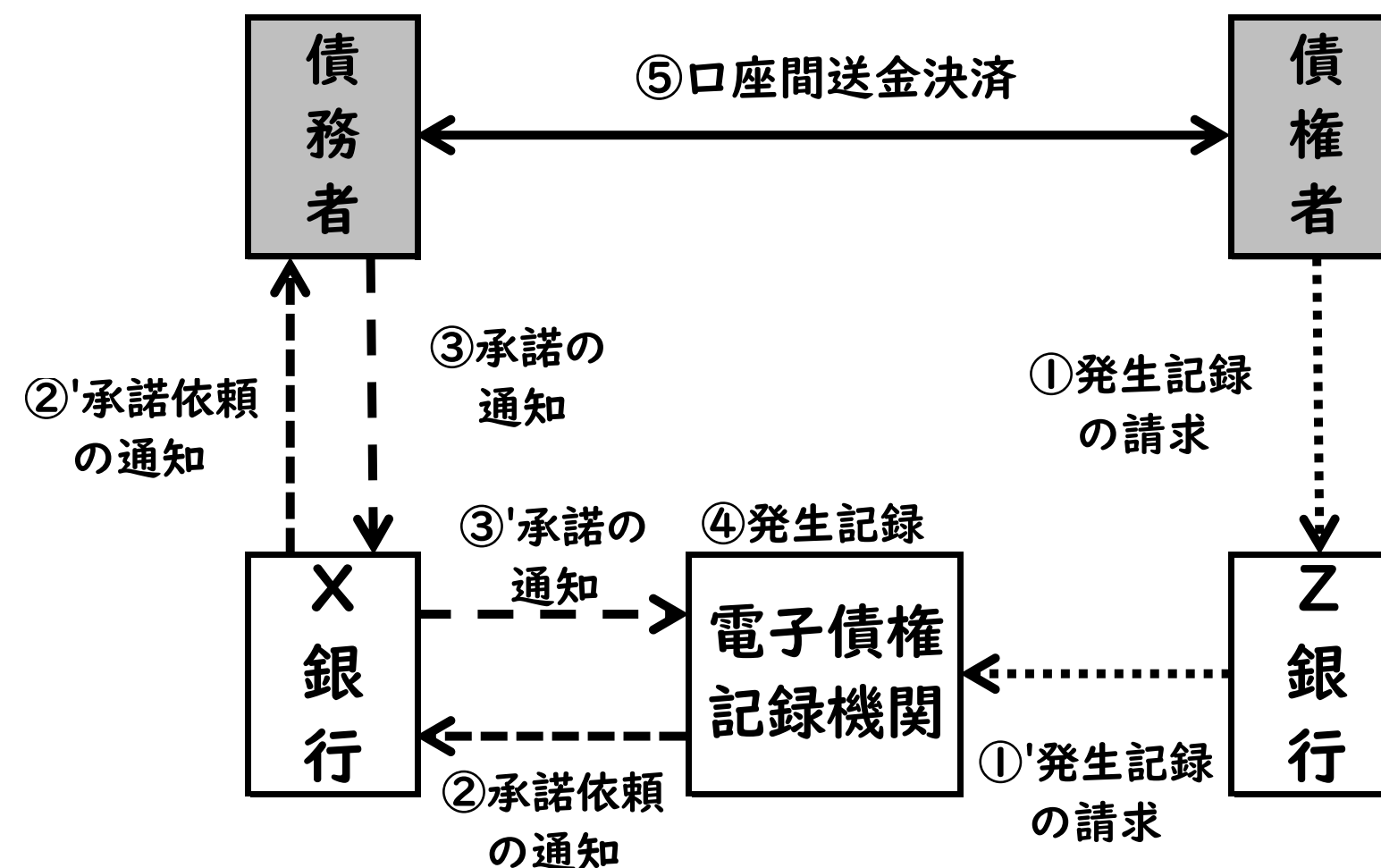
[債務者情報]
・名称…A社
・住所…××県××区×××××
・決済口座…X銀行××支店 当座:×××××××

[債権者情報]
・名称…イロハ社
・住所…東京都××区×××××
・決済口座…Z銀行××支店 当座:×××××××

[債権金額] 5,000円
[支払期日] 20××年××月××日
[決済方法] 口座間送金決済
[記録番号] ××××

○用語○

- ・電子記録債権…債権(後日お金がもらえる権利)を電子化したもの
- ・電子記録債務…債務(後日お金を支払う義務)を電子化したもの
- ・電子債権記録機関…電子記録債権・債務の記録および管理を行う機関
- ・発生記録…債権・債務の発生を電子的に記録すること
- ・口座間送金決済…債務者の口座から債権者の口座へ自動的に振替える仕組み
- ・債権者請求方式…債権者が発生記録の請求を行う方式(債務者の承諾が必要)
- ・債務者請求方式…債務者が発生記録の請求を行う方式



第1問(仕訳)項目別対策

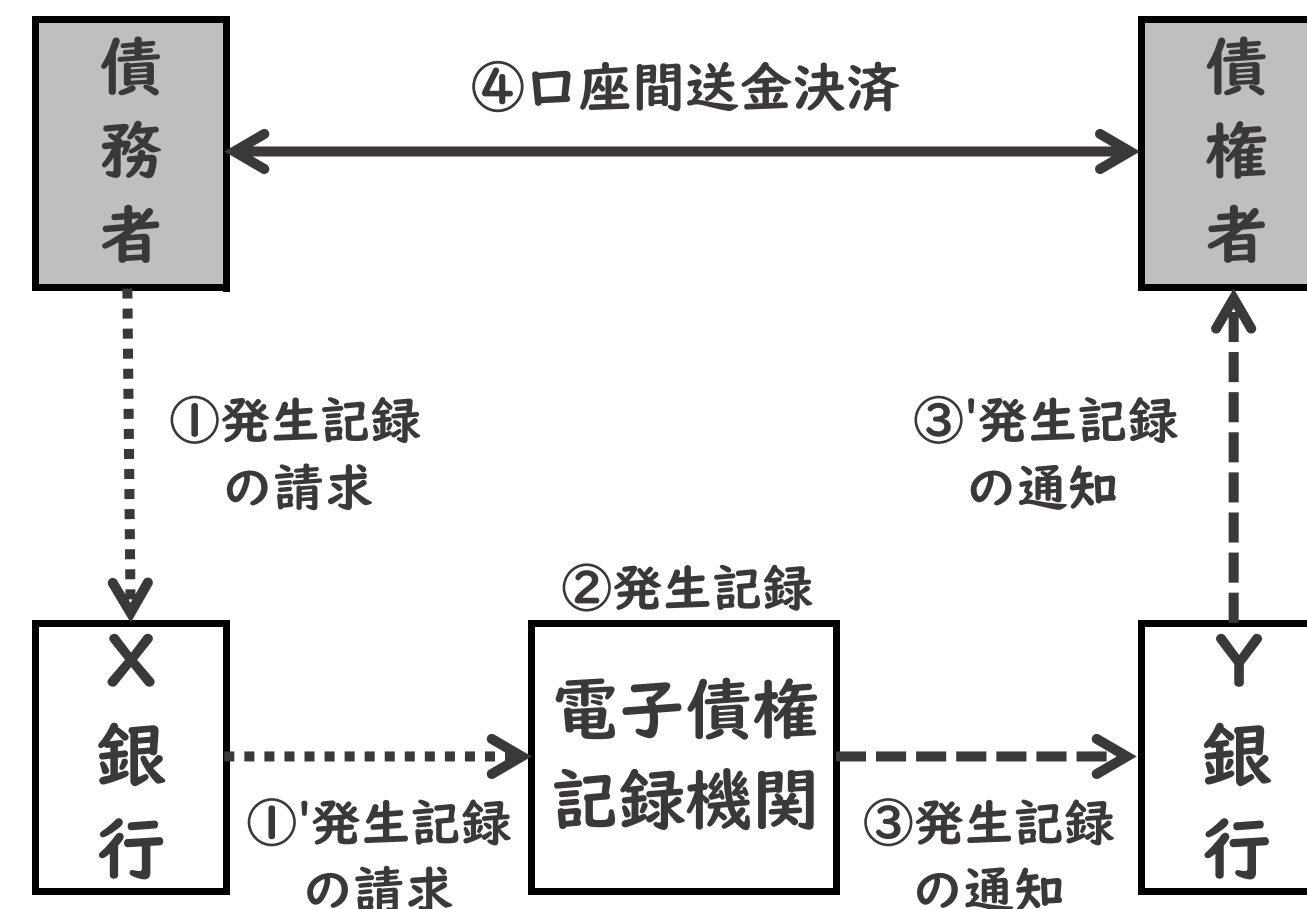
※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題4》

仕入先A社に対する買掛金3,000円の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通して債務の発生記録を行った。

○用語○

- ・電子記録債権…債権(後日お金がもらえる権利)を電子化したもの
- ・電子記録債務…債務(後日お金を支払う義務)を電子化したもの
- ・電子債権記録機関…電子記録債権・債務の記録および管理を行う機関
- ・発生記録…債権・債務の発生を電子的に記録すること
- ・口座間送金決済…債務者の口座から債権者の口座へ自動的に振替える仕組み
- ・債権者請求方式…債権者が発生記録の請求を行う方式(債務者の承諾が必要)
- ・債務者請求方式…債務者が発生記録の請求を行う方式



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題5》

前期に計上した電子記録債権5,000円が貸倒れとなった。
なお、貸倒引当金の設定は行っていない。

●Point●

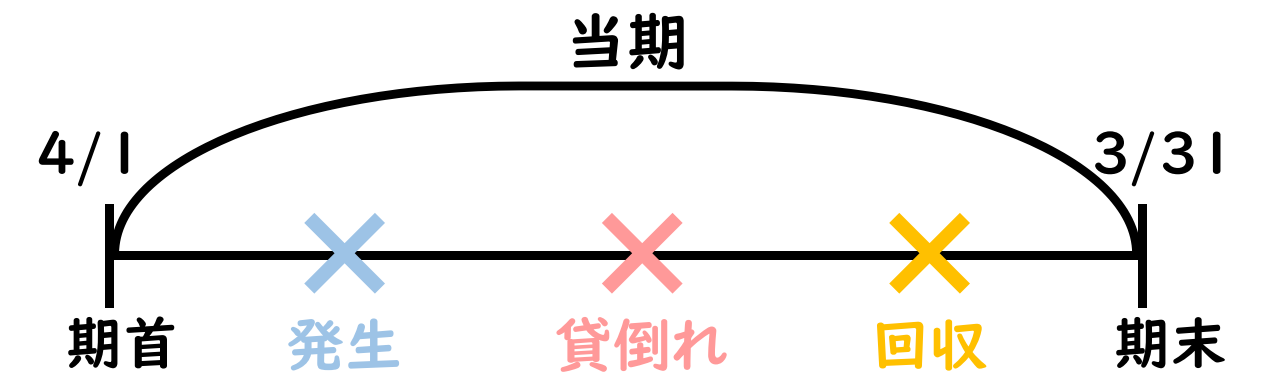
電子記録債権も売掛金や受取手形と同様に得意先等から回収する債権(後日お金を回収する権利)であるため、回収不能になった場合は貸倒れの処理を行う。また、電子記録債権にも貸倒引当金の設定は行われる。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題6》

得意先A社が倒産したため、当期に発生した売掛金10,000円について、貸倒れの処理を行う。



●Point●

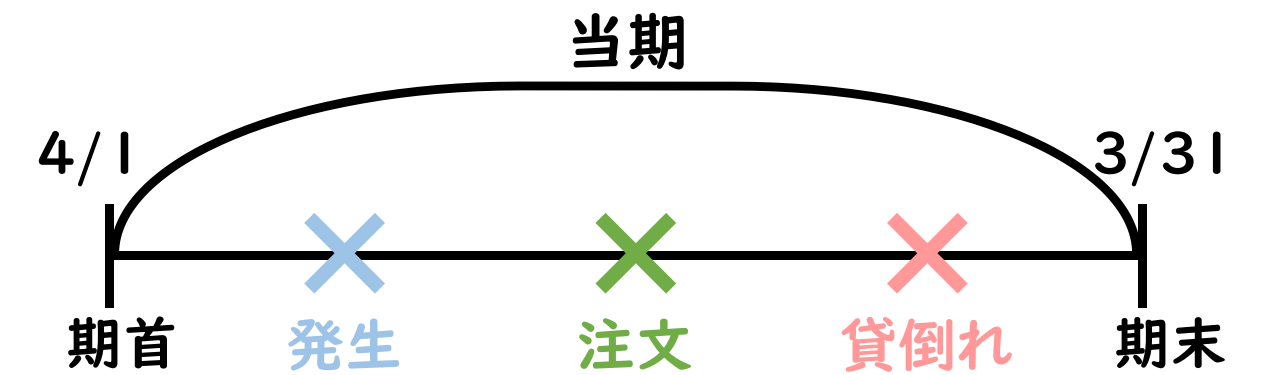
当期に発生した売掛金が当期中に回収不能となった場合は、貸倒引当金の設定をしていないため、「貸倒損失(費用)」として処理する。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題7》

得意先A社が倒産し、当期に発生した売掛金10,000円のうち、4,000円は注文時に受け取った手付金と相殺し、残額は貸倒れとして処理した。



●Point●

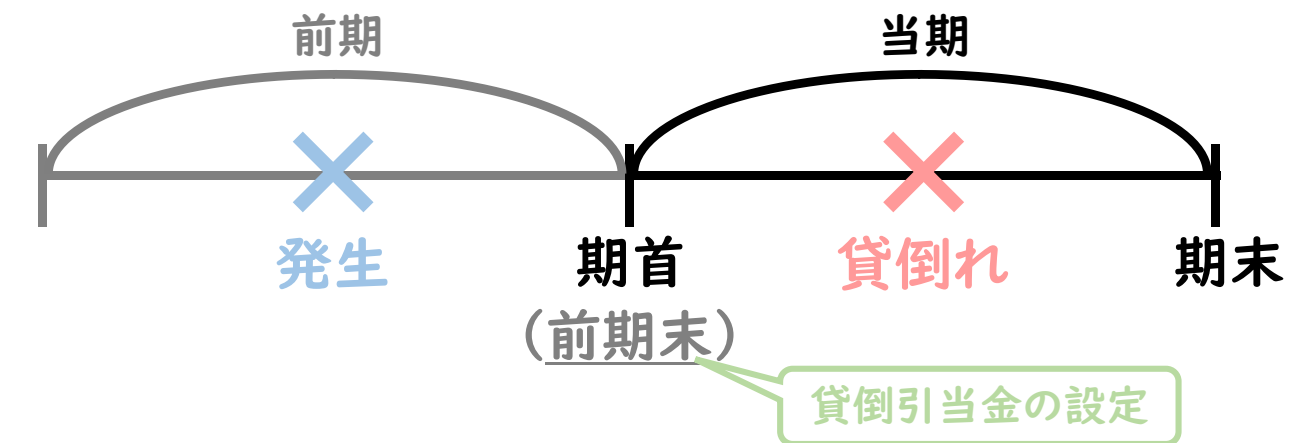
当期に発生した売掛金が当期中に回収不能となった場合は、貸倒引当金の設定をしていないため、「貸倒損失(費用)」として処理する。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題8》

得意先A社が倒産したため、前期に発生した売掛金10,000円について、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残高は8,000円である。



●Point●

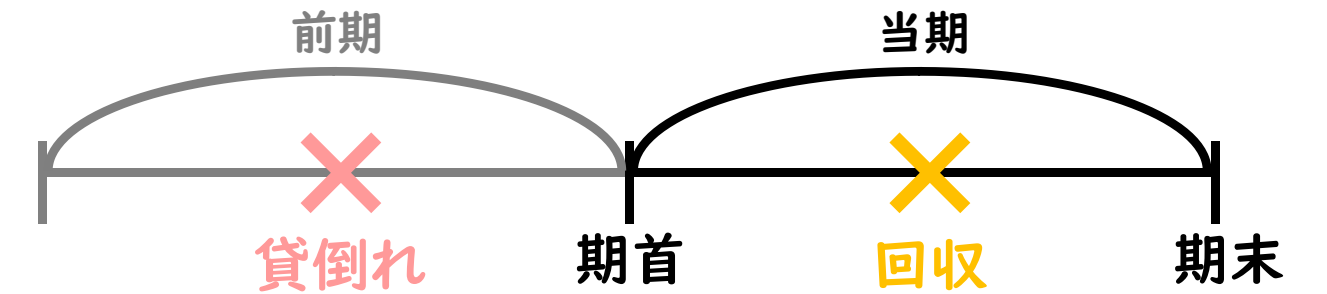
前期に発生した売掛金が当期中に回収不能となった場合は、前期末における貸倒引当金の残高を確認し、設定額があればその金額を取崩す。残高が足りない場合は「貸倒損失」として当期の費用として処理する。

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題9》

前期に貸倒れとして処理していた売掛金5,000円のうち、3,000円が回収され、当座預金口座に振り込まれた。



●Point●

前期以前に貸倒れ処理した損失は、取り消すことができないため、回収できた場合は「償却債権取立益」として当期の収益として処理する。